

▽労働講座企画委員会寄附講座△

自分の未来をつかめ～OB・OGの働き方と
とおして考える

職場のリアル～働く人たちの貧困
非正規シングル女性を中心に

2018年5月22日

(公財)横浜市男女共同参画推進協会
事業企画課長 白藤香織

◎本日、お話しすること

- ◆今のしごとに就くまでの話
- ◆横浜市男女共同参画センターの事業
- ◆非正規雇用のリアル
- ◆「非正規職シングル女性の社会的支援に向けたニーズ調査」調査結果とプログラムについて

◎ 自己紹介

大学卒業後、銀行勤務、英国イーストアングリア大学（開発とジェンダー修了）を経て、1998年入職。女性の健康・就業支援事業の事業企画と実施に従事。「非正規職シングル女性の社会的支援に向けたニーズ調査」（2015年度）、「仕事とくらしのセーフティ講座」プログラム開発及び実施に携わる。現在は、広報と事業開発、事業部門のとりまとめや調整を担当。2度の育児休業、ダブルケア（子育てと介護）を経験。夫も1カ月の育児休業経験あり。

◎ 横浜市男女共同参画推進協会の ビジョン

すべての人が**性別にとらわれることなく生きる権利を尊重され**、個性と能力を十分に発揮して、**あらゆる分野に対等に参画する**豊かで活力ある社会を（横浜で）実現すること。

自分のビジョン

性別・国籍・障がい等の多様な個性が排除されることなく、個人として尊重される社会を実現すること。

◎ 横浜市男女共同参画センターの事業とは



男女共同参画センター横浜
(フォーラム)

男女共同参画セン
ター横浜南



男女共同参画センター
横浜北

財団設立: 1987年

指定管理者として市内3館の男女共同参画センターを管理運営

来館者: 88.8万人 / 講座実施回数: 約3,000回 / 講座参加者数: 約9万人 (2016年度)

◎ 事業運営の基本方針

- センター3館で「横浜市男女共同参画行動計画」に基づいた事業を展開
- 情報（専門ライブラリ）・相談（電話／面接）・学習研修（講座／セミナー）の3つの機能を連携させ、利用者の問題解決を支援
- センター3館を拠点に、アウトリーチも実施

◎ 横浜市男女共同参画センターの事業とは



がんサバイバーのための
ヨガ

情報
ライブラリ



面接相談



パパと遊ぼう～
オムツっ子も水遊び

◎ユース（Youth）向け事業

- **デートDV防止啓発ワークショップ**
年間約4,500人の中・高校生が参加



- **女の子の身を守るアプリ～Charm**
年間3,600ダウンロード（2017年度）
デートDV、性被害、ブラックバイト等の相談先掲載



◎ユース（Y outh）向け事業

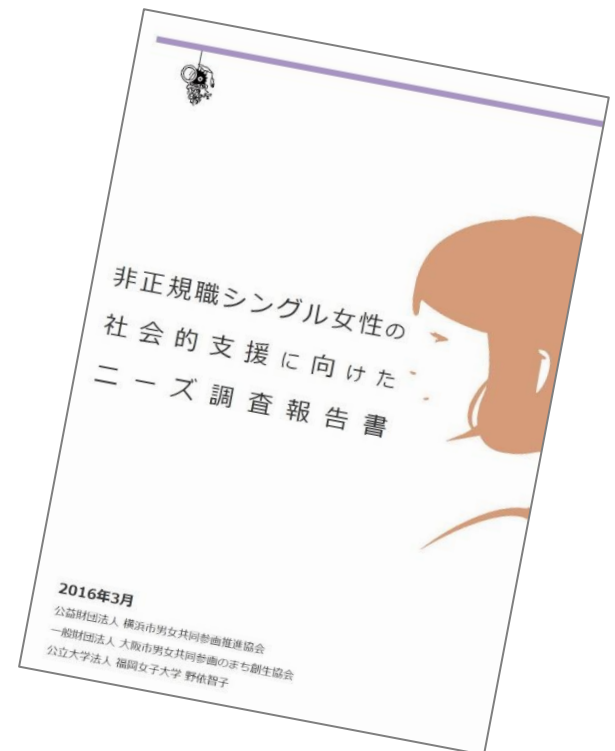
- **セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の相談／居場所** 毎月2回 当事者の支援員
- **自助グループ支援（摂食障害、薬物・アルコール依存、アダルトチルドレン）**
43グループ、約7,400人／年が参加
- **性的傷つきを体験した女性のためのセルフケアのためのグループ** 1コース10人

非正規職雇用のリアル

非正規職シングル女性の ～社会的支援に向けたニーズを探る～

(2015年度)

◆ 調査実施の社会的 背景について



◎ 非正規労働（雇用）の定義

◆ 正規雇用

① 期間の定めがない

② フルタイム

③ 直接雇用

労働者派遣のような雇用関係と指揮命令関係が異なる
もの（間接雇用）ではない

のいずれも満たすもの

◆ 非正規雇用

それ以外の雇用形態（アルバイト・パート・
派遣・契約・嘱託・非常勤等）

◎ クイズ～非正規雇用の今

➤ Q 1 働く人の●割は、非正規雇用？

(パート・アルバイト・派遣・契約社員等)

①2割 ②3割 ③4割 ④5割

回答： **4割**

1990年前半までは、 **2割**

◎クイズ～非正規雇用の今

➤ Q 2 働く女性のうち、非正規雇用は何割？

① 3割 ② 5割 ③ 6割 ④ 7割

回答：② 5割

※労働力調査「詳細集計」平成29年平均（速報）では
54.3%

平成26年（2014年）56.6%よりは減少するも
比率は高止まり、実数は増加

2003年以降、50%を超え続けている

◎ クイズ～非正規雇用の今

➤ Q 3 大卒で非正規雇用。何割？

①いない ②1割 ③2割 ④3割

回答：**大卒2割**

大学院修了で1割

出典：ニッセイ基礎研究所「学歴別に見た若年労働者の雇用形態と年収」
図表2 若年労働者に占める正社員と正社員以外の割合

◎ クイズ～非正規雇用の今

- Q 4 非正規雇用労働者（パート・派遣・契約社員等）のデメリットとは？

隣同士（2－3人）で話してみよう

（2分）

◎ クイズ～非正規雇用の今

➤ Q 4 非正規雇用労働者（パート・派遣・契約社員等）のデメリットとは？

- ・ **雇用が不安定**
- ・ **給与が少ない**
- ・ **福利厚生や研修機会が少ない**
- ・ **社会的信用が低い**

◎ 不本意非正規 事例

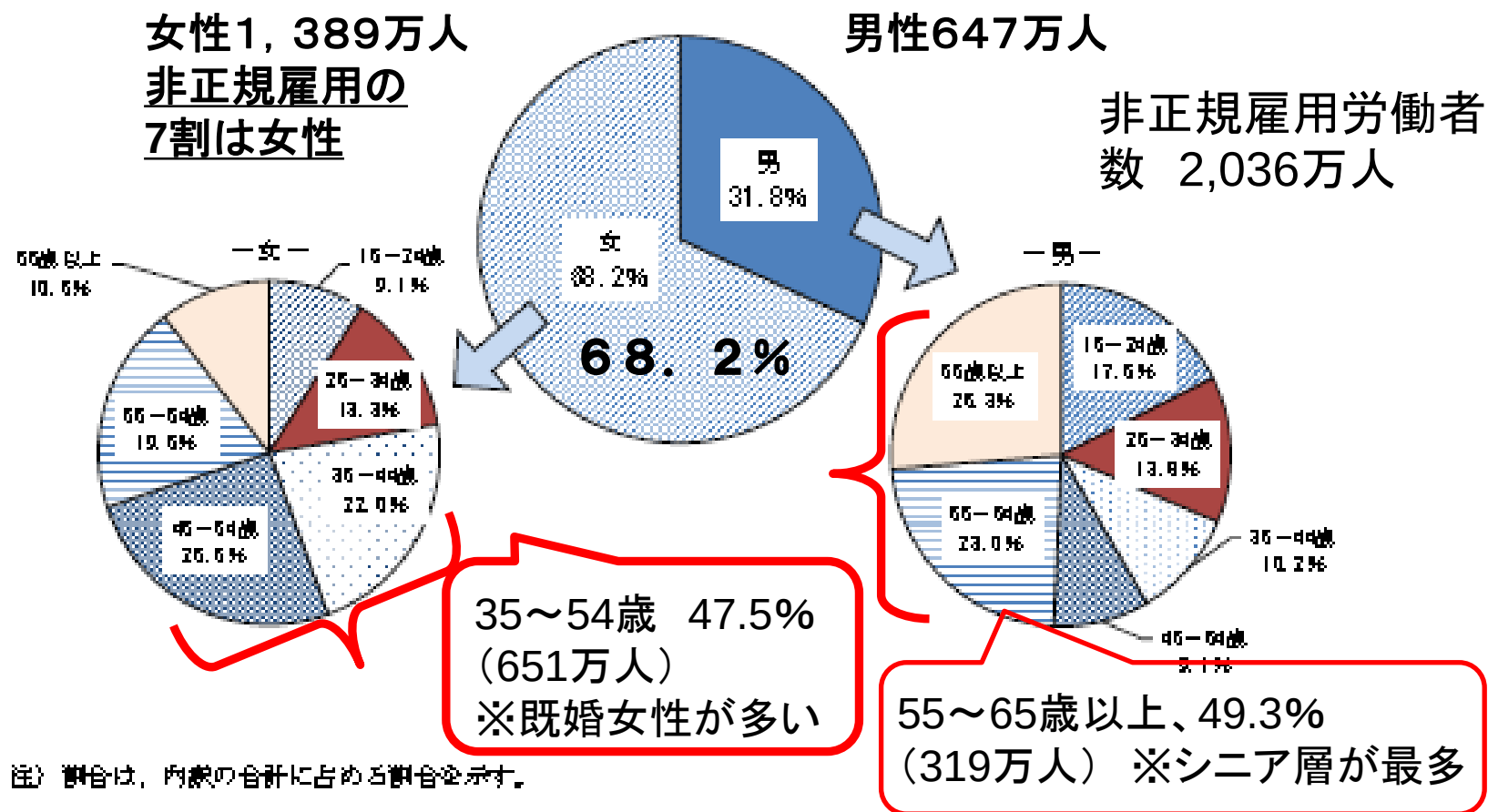
- 就職氷河期に大学を卒業。就活がうまくいかず、初職から非正規雇用になった。
- 正社員として入社した会社が倒産。仕事が見つからず、契約社員として働き、契約更新し続けている。
- ブラック企業に入社。過労でメンタル不調。フルタイムで働けず、パートになった。

面接等で「大学時代、遊んでたんでしょ」「好きでその働き方を選んだのでは」と言われ、辛かった。

・・・これって、自己責任ですか？

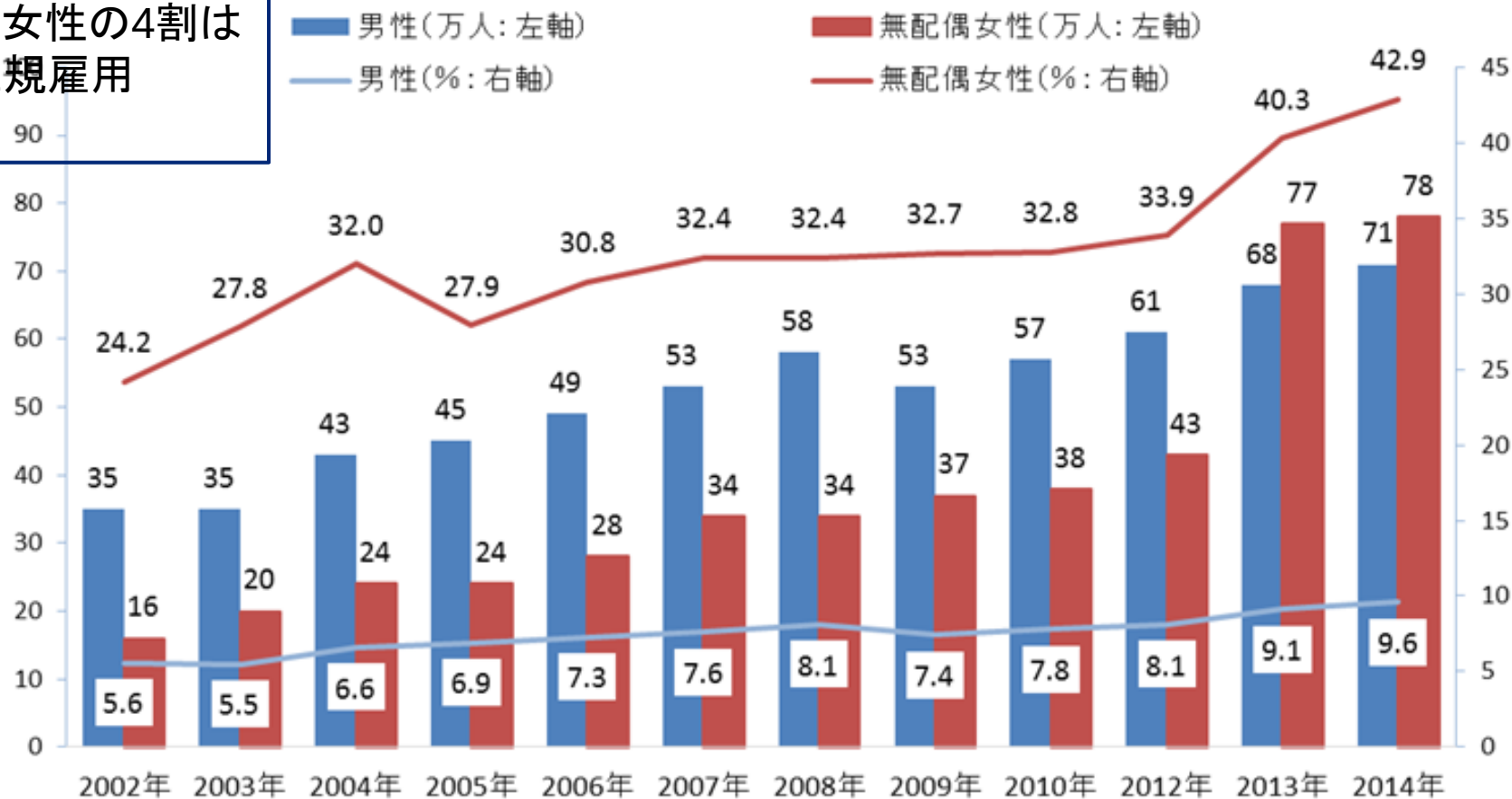
◎ 年齢階級別非正規の職員・従業員の 内訳（2017年）

図2 年齢階級別非正規の職員・従業員の内訳（2017年）



◎ 35～44歳(壮年期)非正規雇用労働者の人数推移・男女別

働くアラフォーシン
グル女性の4割は
非正規雇用



出所: JILPT「壮年非正規雇用労働者の仕事と生活に関する研究報告—就職氷河期から『20年後』の政策課題—」(2015年10月)

<http://www.jil.go.jp/institute/reports/2015/0180.html>

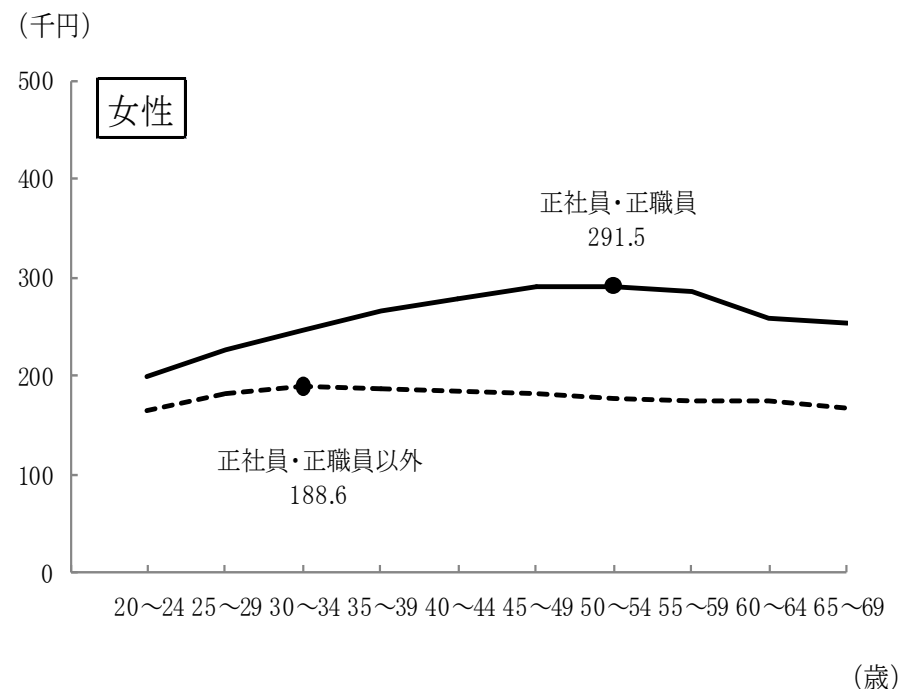
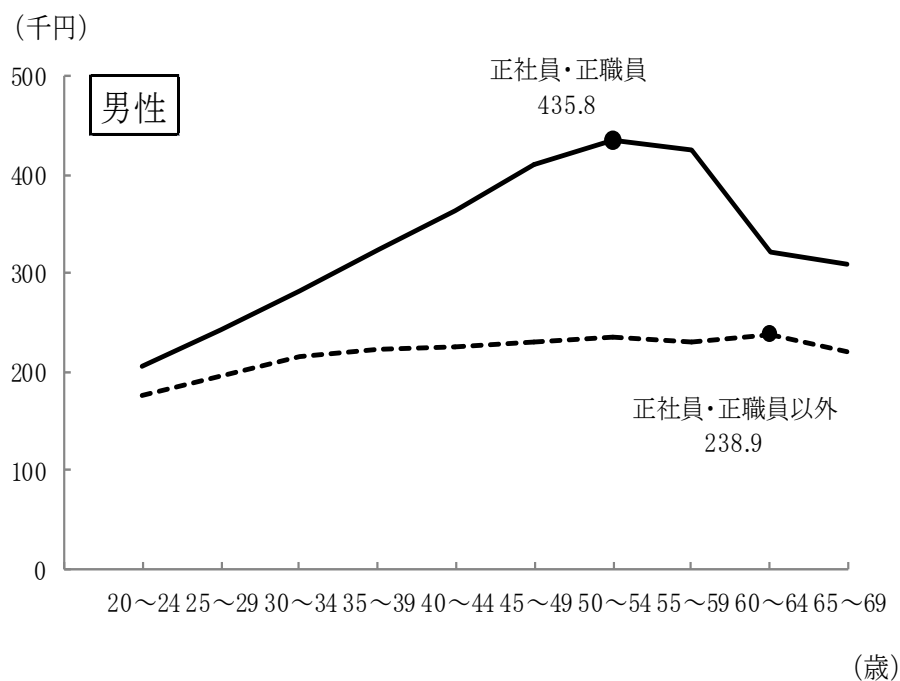
注1: 女性については、2012年までは「未婚女性」、2013年以降は離別・死別を含む「無配偶女性」である。

注2: 在学中の者は除いている。

【参考】未婚女性(ただし、在学中の者を含む): 総務省「労働力調査」2013年10～12月平均51万人、2014年10～12月平均52万人

◎ 正規・非正規の賃金

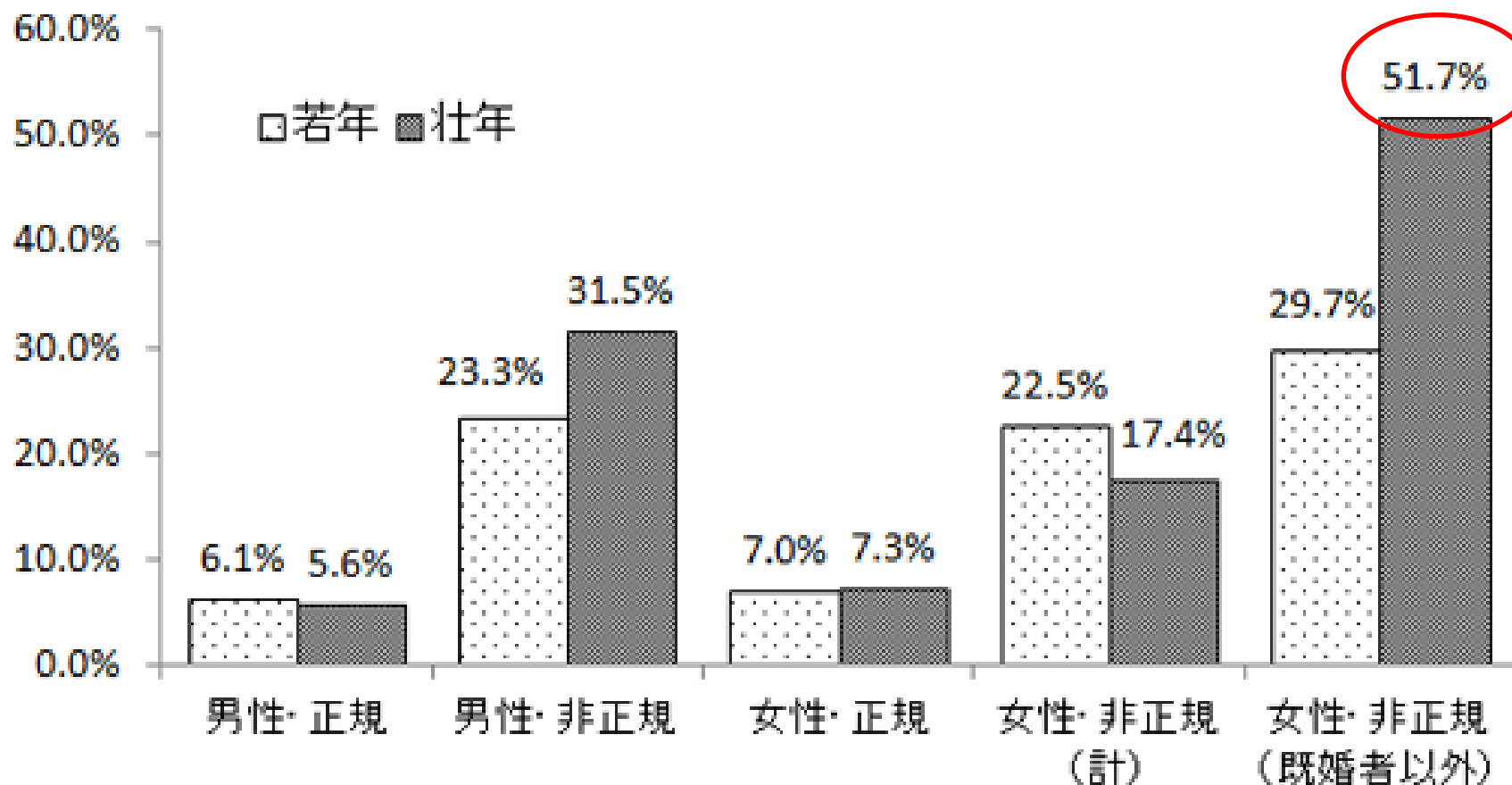
＜雇用形態、性、年齢階級別賃金カーブ＞



出所：厚生労働省「平成26年賃金構造基本統計調査」

●印は賃金ピーク

◎ 正規・非正規の貧困率



出所: JILPT『労働政策研究報告書 No.164 壮年非正規労働者の仕事と生活に関する研究 ―現状分析を中心として―』 pp.152-153

グラフ出所: <http://www.jil.go.jp/institute/reports/2014/0164.html>

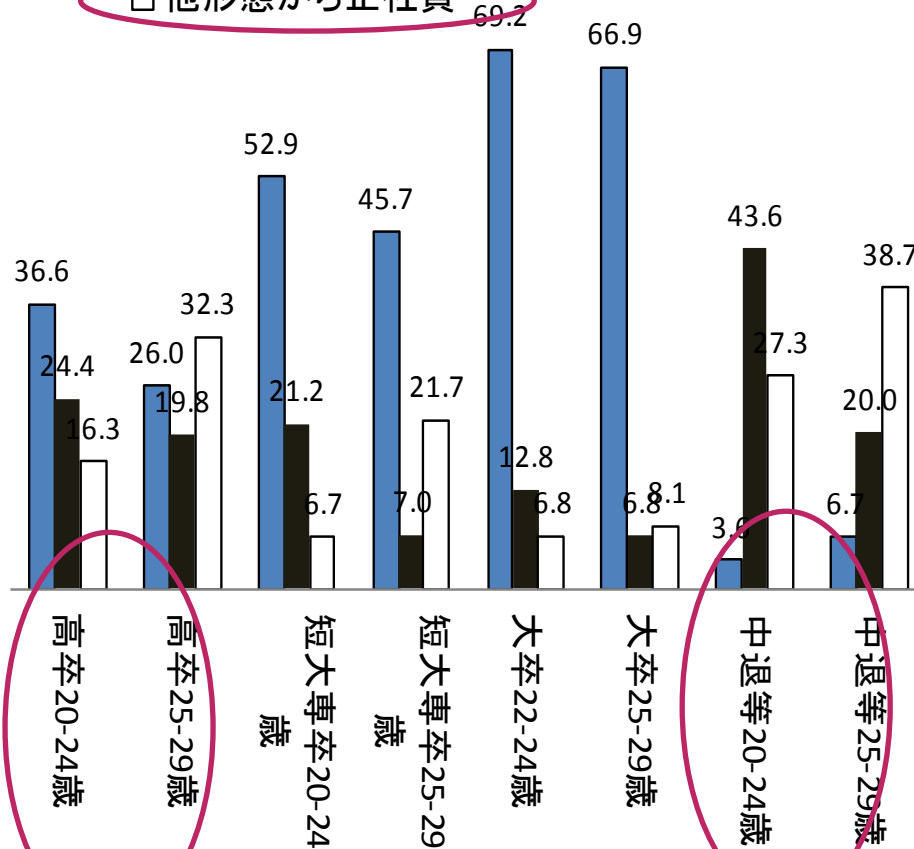
◎大都市の若者の職業キャリア（非在学者）

男性は正社員に引き上げられているが、女性は引き上げられない。

2011年男性

■正社員定着・転職 ■非典型一貫

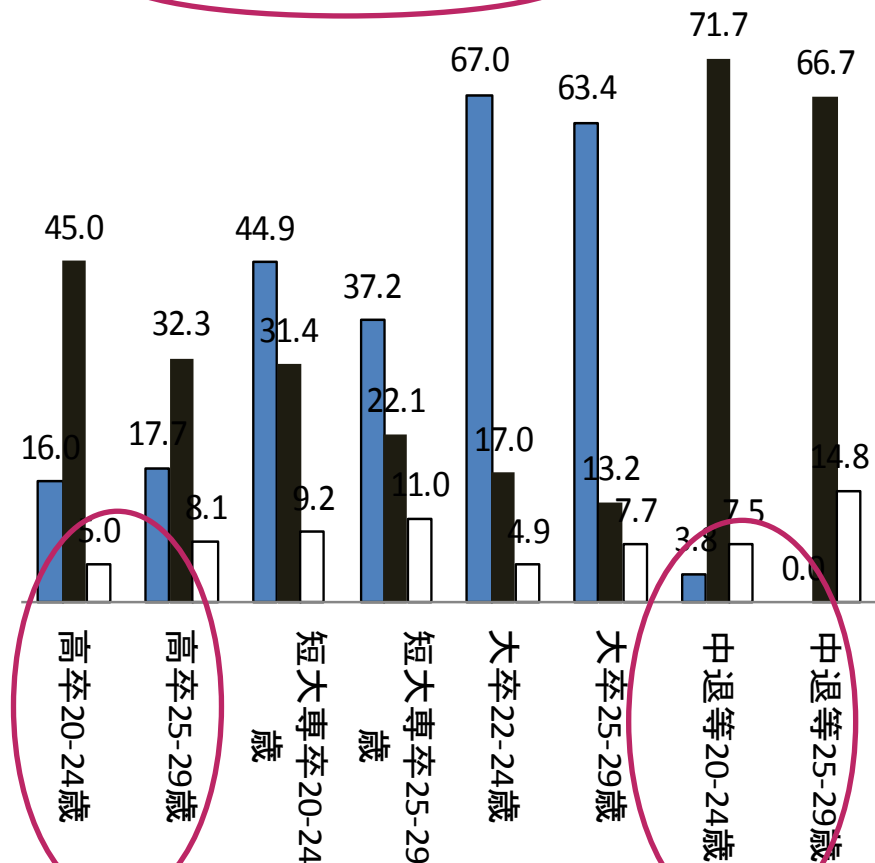
□他形態から正社員



2011年女性

■正社員定着・転職 ■非典型一貫

□他形態から正社員



◎ 未婚率の高まり

◆ 未婚率（2015年国勢調査）

- ・ 女性（35～39歳） 23.3%
- ・ 男性（35～39歳） 34.5%

◆ 生涯未婚率（2010年⇒2015年 国勢調査）

- ・ 女性 10.6%⇒14.9%
- ・ 男性 20.1%⇒24.2%

⇒2035年には

女性の生涯未婚率 約19%

（国立社会保障・人口問題研究所の予測）

◎非正規労働の「問題」化

- ◆若者の非正規（無業）問題
ニート、ひきこもり、派遣切り等
- ◆2007年 リーマンショック以降、男性の非正規雇用が急増し、社会問題化
女性の非正規雇用化は問題とされてこなかった。
- ◆不本意非正規 労働力調査で女性は10%とあるが...
 - ・ 壮年シングル女性対象の私たちの調査では60%
 - ・ 主婦パートは「非正規」を望んでいる？
長時間労働の「正規」を望んでいないのでは？

◎なぜ、女性の非正規雇用は「問題」
にならなかったのか

◆非正規＝女性（主婦パート）だから

→女性は主たる稼ぎ手（父親・夫）に扶養される

→女性の仕事は補助的労働にすぎない

＝「男性稼ぎ主モデル」

に基づく考え方

◆自己責任論

◎「男性稼ぎ主モデル」のリスク

女性は働いても、一人で食べていくことができない

= 働く女性の貧困



女性が貧困に陥るリスクが高い社会

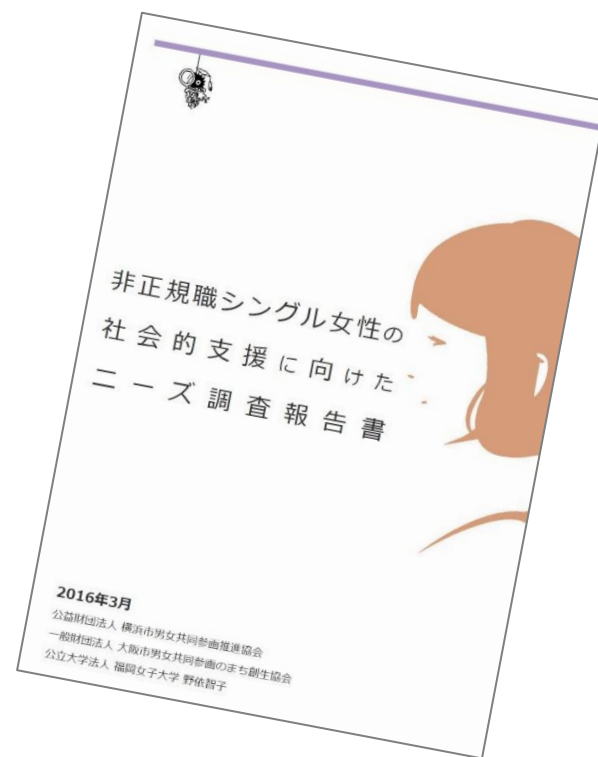
◎ 背景のまとめ

- 働く女性のうち半数以上が非正規
 - 既婚女性のパート労働の割合が多いため、
女性の「不本意非正規」が見えづらい
 - 壮年(35～44歳)非正規シングル女性は増加している
＜**10年で2.7倍**（2002年～2012年）＞
 - 壮年非正規シングル女性の**2人に1人が貧困**
 - 男性に比べて、非正規から正規への転換が行われない
 - 女性の就労に関わる支援・政策の対象は
 - ・ 結婚・出産した女性
 - ・ 正社員の女性
 - ・ シングルマザー 等
- ⇒低賃金にもかかわらず、非正規シングル女性への支援がない

非正規職シングル女性調査

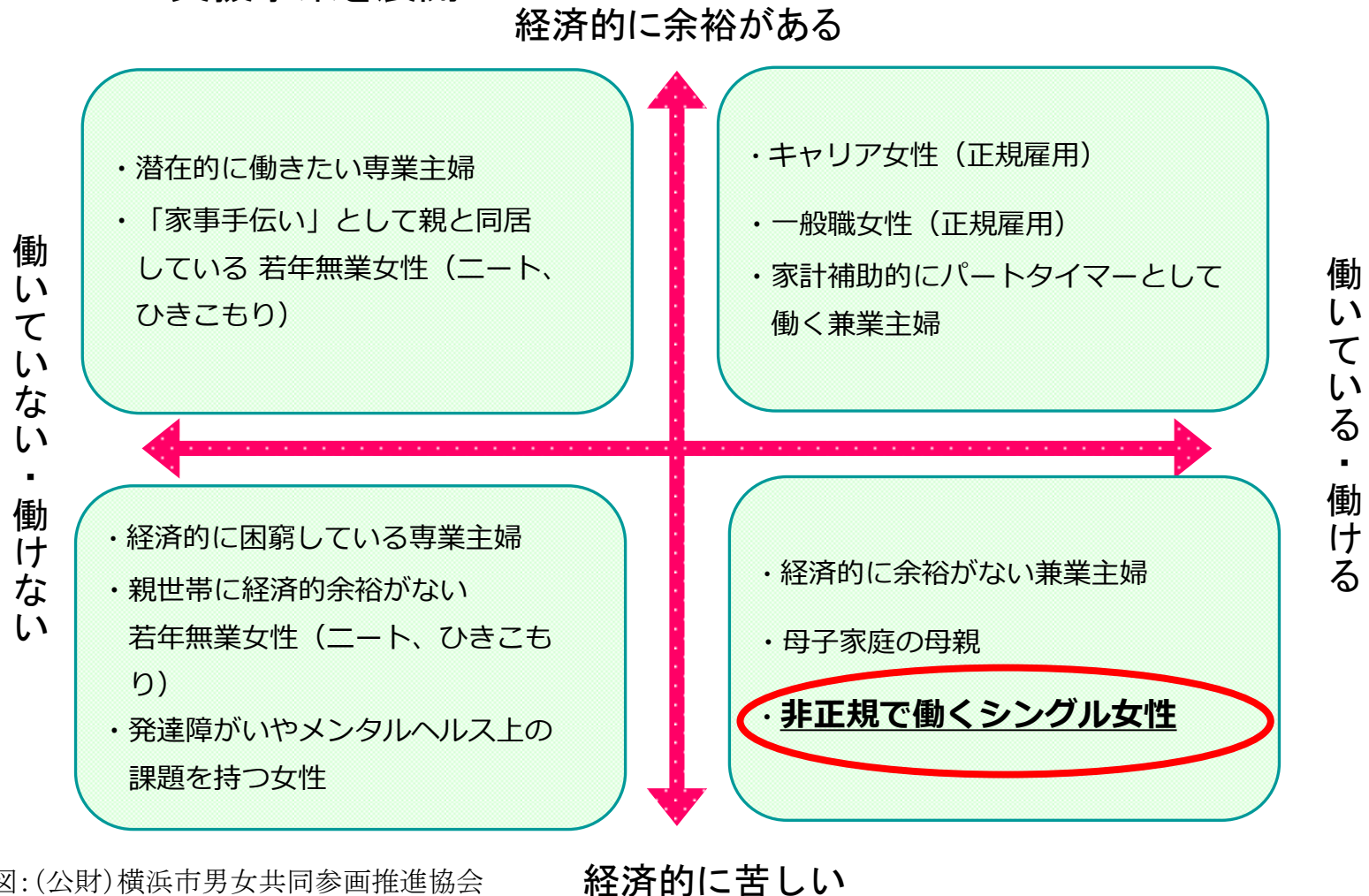
～社会的支援に向けた
ニーズを探る～
(2015年度)

- ◆ 調査実施の背景
(事業から見たニーズの変化等)



◎ 事業対象層の見直し

※社会経済状況の変化を受け、対象層を見直し、新たな対象層向けの支援事業を展開



作図：(公財)横浜市男女共同参画推進協会

◎ 調査の全体像

2014年度

- 基礎的な統計データ等の分析
- ヒアリング調査の実施(2015 年2～3 月) 回答者数:7 人

2015年度

- 調査の設計

- ウェブアンケートの実施
告知 (9 月)
実施 (10 月)
→有効回答者数 261 人
※グループインタビュー協力者募集

- グループインタビューの実施
(11 月～1 月)
横浜: 12 人
大阪: 4 人
福岡: 6 人

- 調査結果のとりまとめ
- 支援事業等の検討

◎ 非正規職シングル女性の社会的支援に向けたニーズ調査（2015年度）

《調査概要》

【実施主体】

公益財団法人 横浜市男女共同参画推進協会
一般財団法人 大阪市立男女共同参画のまち創生協会
公立大学法人福岡女子大学教授 野依智子

【調査対象】

横浜市、大阪市、福岡市を中心とする地域に在住し、
非正規で働いている35～54 歳で子どものいない
シングル女性

【方法・期間】

(1)ウェブアンケート 2015年10月3日(土)～10月30日(金)

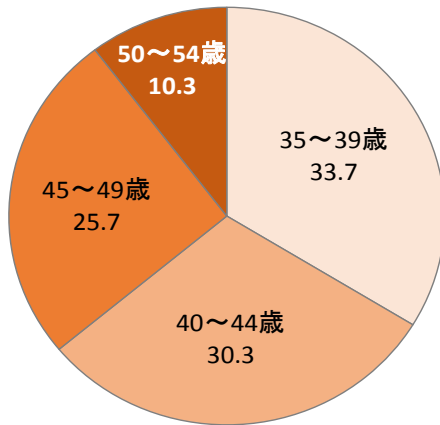
○回答数 279件 うち有効回答数 261

(2)グループインタビュー 2015年11月～2016年1月

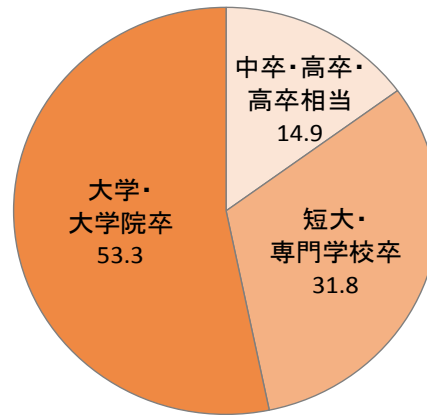
○3都市で5回実施、22人参加

◎ 回答者の概要（プロフィール）

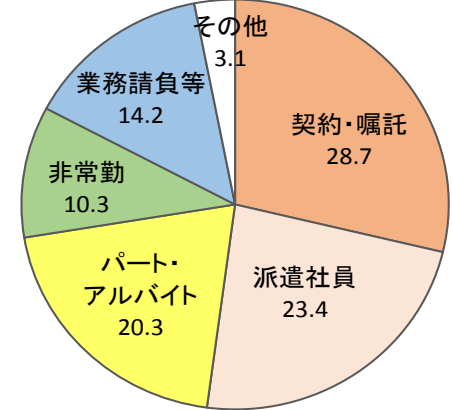
◆ 年齢



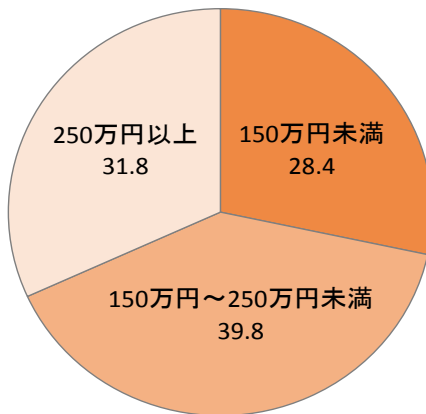
◆ 最終学歴



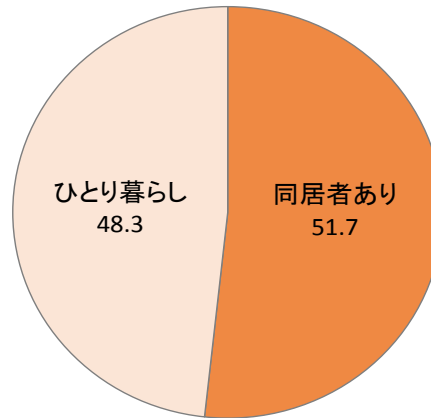
◆ 現在の就業形態



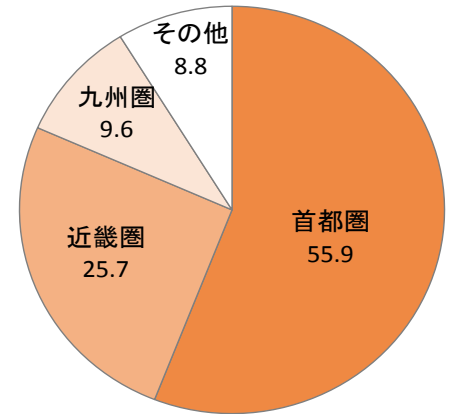
◆ 現在の年収



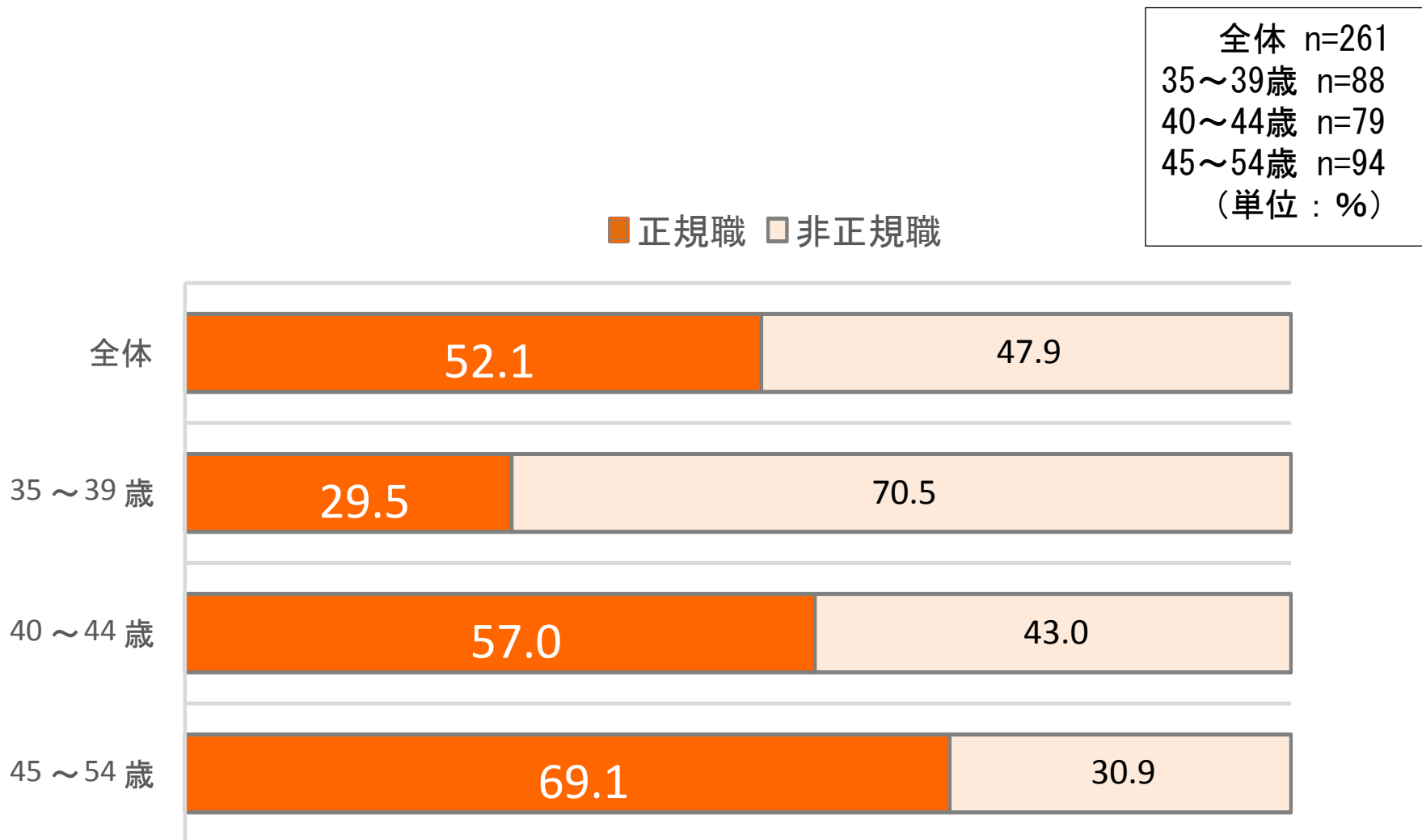
◆ 同居状況



◆ 居住地

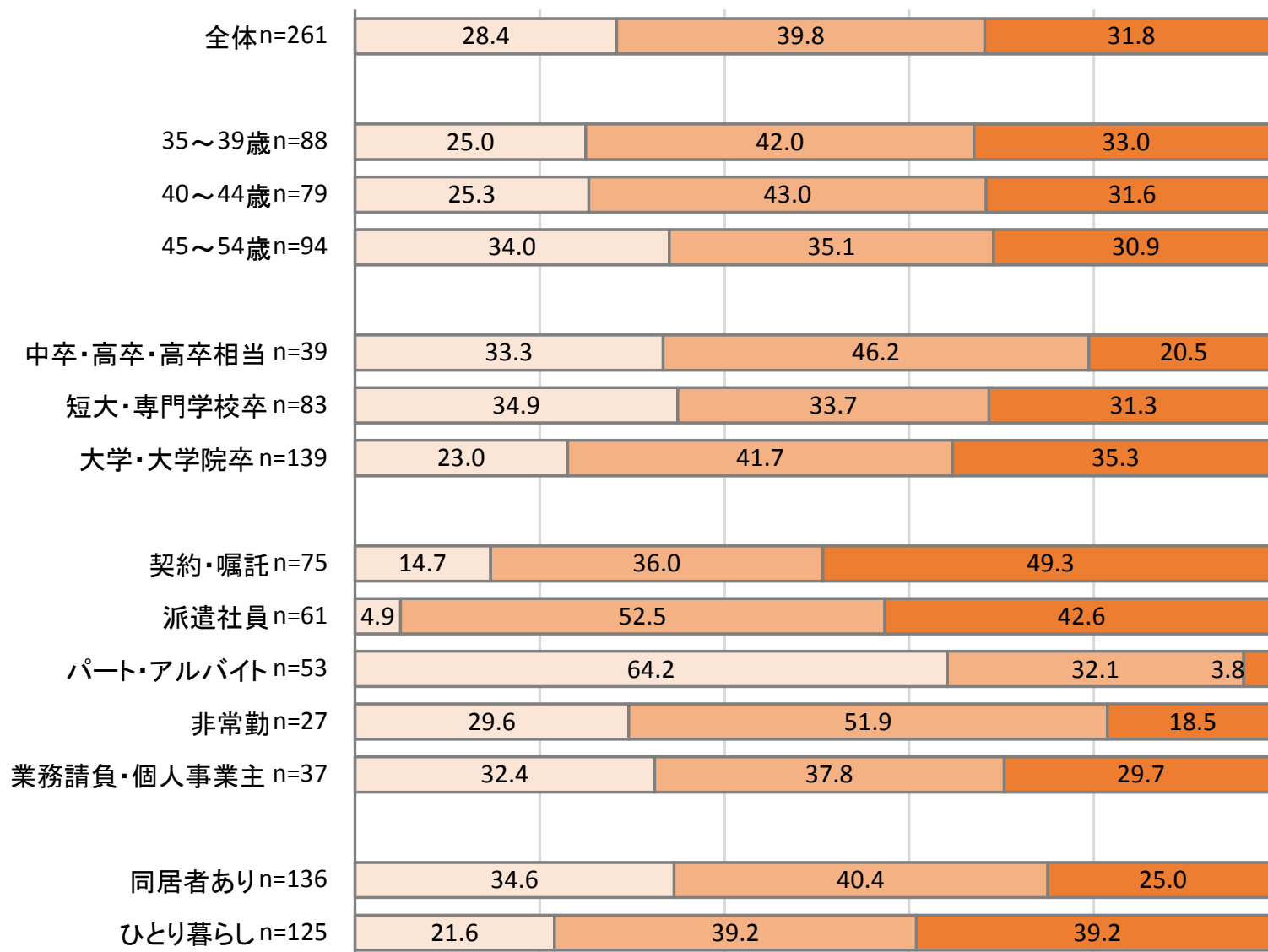


◎ 調査結果～初職の就業形態（年代別）



◎年収3区分×年齢・学歴・就業形態・同居状況

□ 150万円未満 □ 150万円～250万円未満 ■ 250万円以上



◎ 自由記述より

- 病気になったら契約を切られ、収入がなくなってしまうのが不安。収入が少ないため、貯蓄できない。
- 契約だからという理由で、昇級も昇格も賞与もない。正社員の半分ぐらいの給料。主たる稼ぎ手が家族にいる人をイメージして給料が決められている。
- 健康・仕事・住まいの心配はつながっている。自分の老後も親の老後も心配。
- 経験値が積み上がらない。資格取得の勉強をしたいが、学ぶための時間も、経済的余裕もない。
- 救急搬送された際、付き添いがないことを理由に受け入れ拒否された。独身女性は病院にも嫌がられる。
- 職場が遠いが、（派遣職員なので）交通費が出ない。就業場所により収入が変わる。

◎ 調査結果まとめ

① 6割が“不本意非正規”

② 「35～39歳」の7割が“初職から非正規”

③ 3割が年収『150万円未満』

④ 二大困難は“低収入”と“雇用継続”

「収入を増やしたい」72% 「正社員になりたい」37%

⑤ かかえる困難の多様さ

世代、就業形態、収入

⑥ ジェンダー規範とケア役割

シングル女性への目に見えない圧迫

◎当事者が望む3つのこと

①社会の風潮や制度の改革

(例) ・ **最低賃金を上げる**、求人の年齢差別をなくす、非正規職の待遇改善、主婦との税金・社会保険料の格差をなくす、生活保護等福祉サービス利用への偏見をなくす、結婚や出産を体験しない女性への偏見をなくす、**女性への家事・介護負担の偏りをなくす**

②具体的なサポートプログラム

(例) 【活動】 **職業訓練・資格取得**、スキルアップ、企業とのマッチングの場、心身がリフレッシュできる場

【住まい】 **低家賃の住まい・家賃補助**、公営住宅の優先入居、ルームシェアや住人マッチング

【相談】 不安な気持ちをただ聴いてくれるサービス、非正規・シングル・女性のためのキャリアカウンセリング、シングル女性に特化したハローワーク、税金・健康・キャリアアップ等の総合相談窓口、親の介護と仕事の相談、健康相談・健康診断、個人事業主のための相談

③同じ立場の人のつながり

(例) ・ **同じ経験をしている仲間と出会い**、わかちあうしくみ、おしゃべり会、交流サイト、現状が「ふつう」ではないと気づく機会、ネットワークづくり、それらを自分たちが主役となって行うこと

◎ 2016年度以降の取組み

2016年度

◆ 「非正規職シングル女性の課題・ニーズ別支援モデルプログラムの開発事業」

(内閣府委嘱事業)

- (1) プログラム開発 (4回の検討会と意見交換会)
- (2) プログラムの試行実施 (2016年11月～12月、全3回)
- (3) 女性の再就職・転職自己効力感尺度による効果評価
- (4) 成果報告書の発行 (2017年3月)

◆ 「非正規職シングル女子のしごとと暮らし」 サイト開設

◎ 2017年度～講座開催

◆仕事とくらしの仕事とくらしの
セーフティ講座～パート・派遣・契
約で働くシングルのあなたに
講座＆交流会 8回／年 定員20人

目的：①二大困難の緩和「低収入」「雇用不安」
②居場所づくり

対象：35歳以上の非正規職シングル女性

◆非正規職シングル女子のしごとと
暮らしサイト&SNS 運営

目的：①お役立ち情報等の発信
②社会構造についての問題提起



期日 2017.11.18, 12.9, 2018.1.13, 2.10
 (全5回) 土曜 13:30～15:30
 会場 横浜シーサイドビルホール(11.11, 1.13, 2.10)
 (横浜シーサイドビルホール 1F 大会議室(11.18))
 対象者(定員) 非正規職(パート・派遣)で働くシングル女性20人
 (年齢は20歳以上、30歳未満、未婚、未婚の希望者)
 募集 加 費: 無料
 抽 籤 品 金: 10月12日金曜日TEL/WEBにて受付(先着順)
 TEL: 045-862-5141(09:30～17:00)または 横浜男女共同参画推進協会
 URL: <https://www.hisaki-singlwomen.info>
 ① 申込期間: 2017.10.15(日)～10.21(土)
 ② 抽籤: 横浜男女共同参画推進協会 事務局にて
 ③ 抽籤結果発表: 10月22日(月)18:00～19:00(抽籤結果発表会)にて発表
 ④ 抽籤結果発表会: 10月22日(月)18:00～19:00(抽籤結果発表会)にて発表
 ⑤ 抽籤結果発表会: 10月22日(月)18:00～19:00(抽籤結果発表会)にて発表
 ⑥ 抽籤結果発表会: 10月22日(月)18:00～19:00(抽籤結果発表会)にて発表
 ⑦ 抽籤結果発表会: 10月22日(月)18:00～19:00(抽籤結果発表会)にて発表
 ⑧ 抽籤結果発表会: 10月22日(月)18:00～19:00(抽籤結果発表会)にて発表
 ⑨ 抽籤結果発表会: 10月22日(月)18:00～19:00(抽籤結果発表会)にて発表
 ⑩ 抽籤結果発表会: 10月22日(月)18:00～19:00(抽籤結果発表会)にて発表



◎ 講座内容（前半）

日程・テーマ

【第1回】 6月17日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「働きつなぐために～わたしの強みを見つけて育てよう」
- ◆ **交流会**（ゲストによる体験談あり）

【第2回】 7月8日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「正規雇用を目指す～企業から求められる人物像とねらい目求人」
- ◆ 交流会

【第3回】 9月9日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「マネー・ライフプラン～シングル女性の家計設計」
- ◆ **交流会**

【第4回】 10月14日(土) 14:30～17:30

- ◆ 「働くわたしのからだとの向き合い方～体調管理とケア」
- ◆ 毎日できるかんたん「ミニストレッチ」
- ◆ **交流会**

◎ 講座内容（後半）

日程・テーマ

【第1回】 11月11日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「知っておきたい労働法のポイントとグループワーク」
- ◆ **交流会**

【第2回】 12月9日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「シングル女性と住まい～私にフィットした住まい方を見つけよう」
- ◆ ゲストによる体験談
- ◆ **交流会**

【第3回】 1月13日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「仕事と介護～いずれやってくるその日のために」
- ◆ **交流会**

【第4回】 2月10日(土) 13:30～16:30

- ◆ 「副業の可能性とはじめ方～キャリアの軸を複数に」
- ◆ ゲストによる体験談
- ◆ **交流会**

◎ 講座のふりかえり（2017年度）

◆参加者：のべ194人（申込数288人）

◆参加者のプロフィール：

◎ 講座のふりかえり（アンケートより）

- ・グループで話し合ってみると、自分の気持ち、相手の気持ちが分かり、話がよく見えて良かった
- ・お金に関するモデルプランは家庭ありきか、男性単身者・正社員が前提。今回はシングル女性に特化していたよかった
- ・社長の目で「どんな人物に正社員として働いてほしいか」を考えることは意味があった
- ・誰かに甘える、頼ることをためらわない、という言葉が印象的だった
- ・時間に余裕があるのに、一步が踏み出せていなかった。副業のテーマが参考になった
- ・世界が広がり友人も増えた

◎ 講座のふりかえり

◆ 成果

- ・ ニーズの顕在化（サイト＆SNSによる周知が進んだ）
メディアへの露出の多さも寄与（3年間で52件）
- ・ 交流の場の創出により当事者同士がつながり、孤立を緩和
（修了後のミーティングスペースも提供）
- ・ 9割以上が講座に「大変満足」「満足」
- ・ 今ある制度の活用＆情報収集＋行動の重要性の認識
- ・ プログラム参加による自己効力感の向上（2016年度）

◆ 課題

- ・ プログラムのみでは「収入向上」「雇用不安」の解消は困難
- ・ 壮年非正規雇用者へのキャリアアップ、住まい等への支援の
政策化が望まれる（高齢化によりさらに貧困に陥る可能性）
- ・ 「自己責任論」に代表される社会の風潮は変わるのか

◎ できること・考えてほしいこと

◆ まずは知ること

「女性の貧困」は、見えにくい

自分の「準拠集団」以外は見えにくい

◆ 女性がフルタイムで働いても経済的に自立できないのは、社会（みんな）の問題

◆ 男性の非正規雇用化・貧困化も進んでいる

◆ 正社員化が問題解決か。長時間労働の問題

◆ 働かざる者、食うべからず？

障がい・病気等でフルタイム就労できない、
あまり働けない。それでも生きる権利が保障されるのが成熟社会 = 失敗が許され、やり直しができる

◎ 「非正規職シングル女子のしごとと暮らし」 サイト & SNS

サイト・SNSを見に来てください。

非正規職 シングル 女子 のしごとと暮らし



<https://www.hiseiki-singlewomen.info/>



非正規職シングル女子しごとと暮らしの研究

@swomenlab

<https://twitter.com/swomenlab>



非正規職シングル女子のしごとと暮らしの研究 @swomenlab

<https://www.facebook.com/swomenlab>

